

かなわ 鉄輪温泉地区

大分県別府市

計 画 期 間 平成17年～21年
 面 積 24.2ha
 交付対象事業費 966百万円
 市人口 126,523人(地区内人口8,870人)

ポイント 湯治場文化と情緒ある温泉街の賑わいを再生「鉄輪温泉丸ごと再生」

地区概要 観光交流センターを併設した温泉施設や広場、道路の石畳等整備することにより、路地裏・湯けむり散策が楽しめ、人的交流が活発になり、街全体が賑わいのある観光拠点として再生を図る。

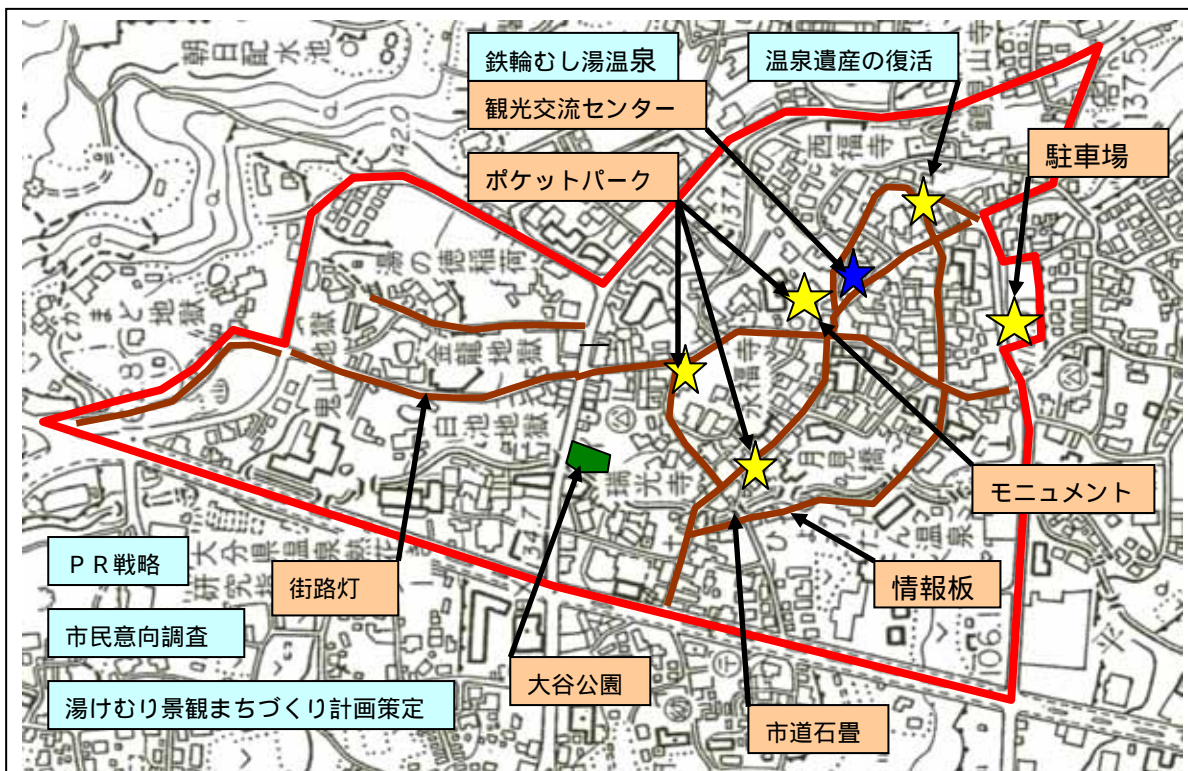
目 標 ふれあいと情緒ある温泉街の賑わいを再生し、うるおいに満ちた湯けむりたなびく交流型観光地の創造を図る。

指 標 市営むし湯温泉の建替え、道路の石畳、公園、広場、街路灯等をトータルで整備することにより湯治場の雰囲気的情緒ある温泉街を演出し、観光客や湯けむり散歩者数及び通りの歩行者や入湯者数の増を目標とした。

観光客数	2,980,000 (H15)	3,200,000 (H21)
参加者数	950 (H15)	1,050 (H21)
入湯者数	20,000 (H15)	26,000 (H21)
歩行者数	4,470 (H16)	4,900 (H21)

事業内容

- 基幹事業(760百万円)
 - ・道路石畳(幅員3.0m～8.0m、延長2,330m)・公園(1カ所、2,671㎡)・ポケットパーク(3カ所、603㎡)・街路灯(83カ所)・観光交流センター(1カ所、74.5㎡)・情報板(24カ所)・モニュメント(1カ所、10㎡)・駐車場(20台、500㎡)
- 提案事業(206百万円)
 - ・温泉管共同BOX(延長1,500m)・むし湯温泉(1カ所、197.5㎡)・湯けむり景観まちづくり計画の策定・温泉遺産の復活(2カ所)・市民意向調査・全国へPR戦略



地区の現況と課題

鉄輪温泉地区は、別府八湯の一つとして鎌倉時代より湯治場として栄え、現在もおびたしい湯けむりが立ち上り、豊富な温泉に恵まれた別府を代表する温泉場です。また本地区は、多くの共同浴場・旅館土産品店・入湯貸間旅館密集した昔の湯治場の雰囲気のある観光地です。しかし近年交通事情の変化、住民の高齢化、街の魅力づくりの弱さ等により、観光客数が減少し将来に対する危機感を抱いている。

提案事業の特徴

PR戦略

鉄輪温泉地区の事業計画とまちづくり交付金事業の目的等を市民や地元住民及び観光客に周知し、鉄輪温泉の新しいまちづくりを観光宣伝と兼ね全国へPRすることを目的として、ポスター・リーフレットを作成する。

鉄輪むし湯温泉

むし湯は、古くから鉄輪温泉の中心的施設として、利用されてきましたが、近年老朽化が進み、早急な改修が必要となりました。そこで今回まち交事業で移転新築し、入湯客の増加と温泉場の賑わいを再生する。

温泉管共同ボックス

市道内の占用物件（市・個人の温泉管）の維持管理を改善する目的で温泉管共同BOXの整備を図る。

温泉遺産の復活

洗濯場・熱の湯温泉の源泉跡を整備し、NPO法人鉄輪湯けむり倶楽部主催の湯けむり散歩のコースに組み入れ後世に伝えて行く。

湯けむり景観まちづくり計画の策定

別府市のシンボルでありまた、温泉情緒を醸し出す大切な観光資源である湯けむり景観を、保全・保護するため地域住民と協働で景観に配慮したまちづくりを行う。

計画策定プロセス

地元受入協議会との協議

平成16年11月に、地元自治会・旅館組合・商工会・各通り会NPO法人等の20団体役員46名で構成する鉄輪温泉地区まちづくり整備事業受入協議会を設立し、整備方針等の協議を行い、都市再生整備計画に反映させた。

「まち交フロンティア」プロジェクト

都市再生整備計画の作成時に国からの人材派遣（都市再生機構職員）支援を受け、新たな提案事業の掘り起し等の円滑な計画策定が出来た。

別府市長浜田博氏のコメント

このたび、「第2回まち交大賞全国大会」において、「創意工夫大賞」を受賞したことは、大変名誉なことと感じております。

このことは、「鉄輪温泉地区まちづくり交付金事業」を推進するにあたり、地元の皆様が中心となって「地元受入協議会」を設立するなどした、住民の熱意が実を結んだ結果だと考えております。

今回の受賞を契機に、他の地区においてもまちづくり交付金を活用して「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを推進していきたいと思っております。



鉄輪温泉の湯けむり



ポスター



鉄輪むし湯温泉



地元受入協議会との協議の様子



整備前



整備後

生まれ変わった道路